

研究課題名

沖縄県宜野湾市在住の小学生およびその保護者を対象とした食育プログラム

説明文書（保護者用）

崎間 敦

琉球大学グローバル教育支援機構 保健部門管理

宮城 政也

琉球大学教育学部 保健体育 学校保健学

作成日：令和 5 年 6 月 21 日 第 1.4 版

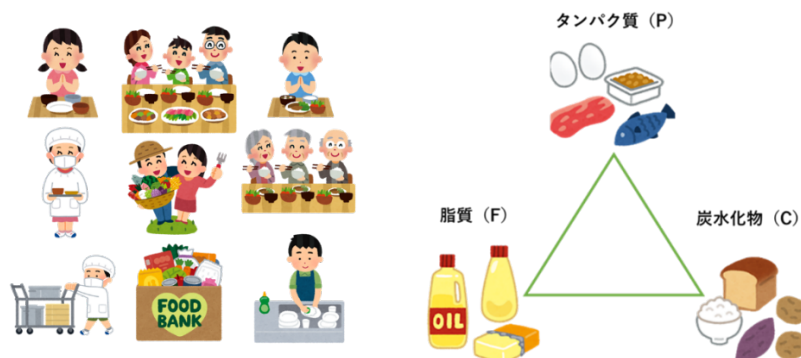
## 沖縄県宜野湾市在住の小学生およびその保護者を対象とした食育プログラム参加の保護者の皆様へ

### 1. はじめに

この説明書は、あなたとあなたのお子様に本研究の内容を正しくご理解頂き、あなたとお子様の自由意思に基づいて参加されるかどうかを判断していただくためのものです。本研究についてご理解・ご賛同頂ける場合は、研究の対象者としてご参加くださいますようお願い申し上げます。たとえ、この研究に参加されない場合でも、不利益を被ることは一切ございませんのでご安心ください。なお、この研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について琉球大学の人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会で審議され、琉球大学長の許可を得て実施するものです。

### 2. この研究の目的はなんですか？

食習慣は幼少期の頃に確立され、成人期以降のライフステージの食習慣に引き継がれます。多くの生活習慣病のリスクは食生活と密接に関係しているため、幼少期からの健康的な食生活の確立が重要です。わが国では「食育」が実施されています。食育は食習慣の改善のみならず、体力や学力の向上など、幅広い波及効果が期待されています。食・生活習慣の知識や情報を正しく理解し活用できる能力（ヘルスリテラシー）を身に着けることや健康的な食・生活習慣の考え方や行動が変わること（行動変容）は、食育プログラムの目当てと考えています。最近、親子で取り組む食育のメリットが報告されています。



しかし、学校での学習カリキュラムはすでに過密状態であり、効率的な食育プログラムが求められています。わが国では、デジタル技術を活用した学校教育（ギガスクール）が導入されており、食育プログラムにデジタル技術を活用する環境が可能となりました。今回、宜野湾市内のモデル公立小学校の生徒およびその保護者を対象に、デジタル技術などの活用も含めた食育プログラムを実施します。「このプログラムが、小学生の栄養知識、食・生活習慣の改善、肥満対策、体力や学力の向上に有用か、また、保護者の食・生活習慣のリテラシーの向上、行動変容および肥満対策に有用か」をこの研究で調べたいと思っています。



### 3. どうして私が選ばれたのでしょうか？

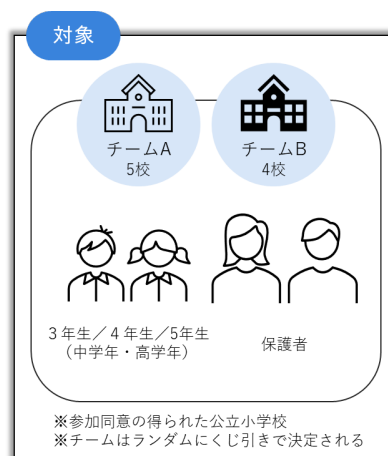
沖縄県宜野湾市内の公立小学校に通学している3～5年生とその保護者の方から参加を募っています。

### 4. どんなことをするのでしょうか？

(1) 研究期間 （研究機関の長の許可日）～2027年3月31日

#### (2) 研究方法

- ① 学校から配布される QR コード付きの研究参加に関する案内用紙から、研究参加登録の開始を行っていただきます。
- ② 研究参加登録時に、ベースラインのオンラインアンケート調査を受けて頂きます。
- ③ くじ引きによって、初年度に食育プログラムを行う小学校（介入校：A グループ）と次年度から同プログラムを行う小学校（対照校：B グループ）にグループ分けします。



- ④ A グループの生徒（お子様）は、初年度から通常カリキュラムの食育授業に加えて、ホームルームまたは給食時に約 3 分間の食育副読本「くわっち～さびら」コンテンツの動画を用いた食育（1～2 週間に 1 回）を受けていただきます。また、保護者の参加者へ、食育コンテンツの QR コードを送付し、保護者の参加者もお子様と一緒にコンテンツを利用できる環境を提供いたします。



- ⑤ B グループの生徒（お子様）は、次年度から A グループと同様の食育プログラムを受けていただきます。保護者の参加者も次年度からコンテンツを利用できる環境を提供いたします。
- ⑥ 食育プログラム 6 カ月後と 1 年後にオンラインアンケート調査を受けていただきます。



### (3) 調査項目

#### 小学生

- ① 基本情報：氏名、生年月日、年齢、性別、在籍小学校、学年学級、出席番号、日時
- ② 食生活
- ③ 身体測定（学校健診）
- ④ 学力調査（全国学力・学習状況調査）
- ⑤ 体力調査（新体力テスト）

保護者

- ① 基本情報：氏名、生年月日、年齢、性別、居住自治会、日時
- ② 子どもの在籍小学校、子どもの学年学級、出席番号
- ③ 身体測定（自記式）：身長、体重
- ④ 食生活
- ⑤ 社会経済的要因：家族構成、家族内責任、教育歴、職歴、世帯収入、就学援助制度
- ⑥ ヘルスリテラシー
- ⑦ 食に関する行動変容ステージ

## 5. 参加することによって何か不利益はありますか？

本研究の方法は食育に関する健康教育であり、薬剤や医療機器による治療は行いません。また、直接お答えいただく調査はアンケートのみで、採血採尿検査は行いません。したがって、何らかの危険が生じる可能性は極めて低いと考えています。しかし、B グループの生徒とその保護者は、本研究開始の初年度から健康教育を 1 年間待たなければならないストレスが発生する可能性があります。しかし、これは本事業に参加しない他地域の生徒とその保護者と同様であります。研究参加中に対象者に肉体的・精神的な苦痛が生じた場合は、研究への参加を中止して頂くなど適切に対応いたします。

## 6. 研究への参加とその撤回について

この研究への参加は、説明をよくご理解いただいた上で、あなたとあなたのお子様の自由意思で決めてください。また、いったん同意した後でも、あなたとお子様の不利益を被ることなく、いつでも同意を取り消すことができます。その場合、知り得た情報をそれ以降に研究目的で用いることはありません。あなたに配布する QR コード付きの案内用紙に、同意後も同意事項の閲覧が可能であること、閲覧可能なホームページなどの情報を記載いたします。ただし、同意撤回時にすでに研究結果が論文や学会などで公表されていた場合のように、解析結果を破棄できないことがあります。その場合でも、個人が特定できる情報が公表されることは一切ありません。

## 7. 研究に関する情報公開の方法

この研究の最終的な結果は、学会や学術雑誌で公表される予定ですが、結果は研究に参加いただいた患者さんの情報をまとめた形で報告されますので、あなたとお子様のお名前や個人情報等を特定できる情報が公開されることはありません。また、あなたとお子様のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書や資料をご覧いただく事や、文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、問い合わせ先までお知らせください。

## 8. 研究により得られた結果等の取扱いについて

本研究で得られた結果を対象者へ説明する予定です。アンケート調査の結果を説明予定です。遺伝子多型の研究は実施しませんので、遺伝カウンセリングは設けません。

## 9. 個人情報の管理について

本研究は、「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。個人情報は、琉球大学グローバル教育支援機構保健管理部門（保健管理センター）の施錠可能な場所で保管します。この研究で得られた個人情報は匿名化を行い秘密保護に十分配慮して適切に管理し、研究のみに利用いたします。

## 10. 試料・情報の保管および廃棄の方法

本研究で得られた記録（同意書、調査票、症例報告書など）は本学にて適切に管理して本研究および関連した研究の目的達成および研究にご協力いただいた皆様の利益の確保（健康の維持、治療への活用など）に使用します。本研究で得られた記録は、問い合わせなどに対応するため本研究の終了報告から 5 年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年のいずれか遅い日まで保管します。また、参加いただいた方やそのご家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、ご本人様に関するデータは速やかに廃棄します。破棄するデータの範囲等は、質問票調査回答のすべてとそのデータセット、対象者リスト、給食残量調査データ、身体測定データ、学力調査データ、体力調査データ、有害事象データ、分析に用いたデータセットになります。ただし、論文発表後やデータの解析後については対応しかねる場合がございます。

## 11. 二次利用について

本研究で得られたデータを別研究で利用する可能性があります。本研究の関係者が既に保有する、または、今後保有するであろう同じ項目を含むデータと合わせて、データベース化して使用する可能性があります。また、同じ項目を含むデータを合わせた大規模な研究のために、外部の機関に提供してデータベース化する可能性があります。その際は、改めて倫理審査委員会で諮り機関長の許可を得るとともに、その概要をホームページや LINE に掲載し、あなたにデータベース化やデータの二次利用を拒否する機会を提供いたします。

## 12. 研究の資金源および利益相反について

沖縄県宜野湾市「健康行動プログラム構築実証事業」と琉球大学との共同研究契約に基づく公的研究費により実施しますので、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。

## 13. 費用について

本研究は宜野湾市との共同研究費を使って行います。本研究のために実施するオンラインアンケート調査、紙資料、食育・健康教育に使用するコンテンツ等に要する費用は宜野湾市との共同研究費を使って行います。一方、ご自身のスマートフォンやお子様の使用するタブレットなどを用いた動画学習やオンライン調査等に係る通信費用は参加者の経済的負担となります。

#### 14. 研究から生じる知的財産権の帰属

本研究の結果として特許権などが生じる可能性があります、その権利は本研究機関、共同研究機関および研究遂行者などに属し、あなたやあなたのお子様には属しません。また、特許権などをもととして経済的利益が生じる可能性があります、あなたやあなたのお子様にはその利益を受け取る権利はありません。

#### 15. 研究実施体制について

琉球大学と沖縄国際大学の多施設共同研究体制です。

#### 16. この研究に関する質問について

この研究についてわからないことや心配に思うことがあれば、下記までお問い合わせください。

メールアドレス：ryudai-ghpj@acs.u-ryukyu.ac.jp

LINE アカウント：https://lin.ee/NwzFRqc

事務局連絡先：098－895－8390

研究責任者：崎間 敦

所 属：琉球大学グローバル教育支援機構 保健管理部門

研究責任者：宮城 政也

所 属：琉球大学教育学部保健体育 学校保健学

上記の点を十分にご理解の上、研究プログラムに参加することを同意される場合は、「子供の参加を同意する」または「子供と保護者の参加を同意する」ボタンを押して、アンケートをはじめてください。

なお、書面同意をご希望される場合は、お手数をおかけしますが、事務局までご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。